

学校コード F128310108838

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

認可

注2

大手前大学大学院 国際看護学研究科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人大手前学園

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総合企画部 総合企画室
職名・氏名	フチャウ オオエシユンジ 部長 大江俊司
電話番号	0798-32-7521
(夜間)	0798-32-5043
e-mail	g-ad@otemae.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

大手前大学大学院

＜国際看護学研究科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	24

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大手前学園

(2) 大学名 大手前大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒540-0008
大阪市中央区大手前2丁目1番88号
(〒662-8552 兵庫県西宮市御茶家所町6-42)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フクイ ヨウ) 福井 要 (平成25年9月)		
学長	(ヒラノ ミットシ) 平野 光俊 (令和4年4月)		
研究科長	(スズイ エミコ) 鈴木 江三子 (令和5年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際看護学研究科 修士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	2年	12人	0人 2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	24人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	12人 () []	人 () []	1.00倍	-	1.00倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	13 () []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	13 () []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	12 () []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	12 () []	() []					
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ **転入学生は記入しないでください。**
- ・ []内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	12 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	12 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	12 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際看護学研究科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
共通科目	国際看護学特論	1前	2			2	1					
	看護学研究方法特論	1前	2			3					1	
	国際看護研究特論	1前	2			1	1					
	保健データ解析特講	1前	2			1					1	
	ジェンダー学特論	1前	2			1						
	公衆衛生学特論	1前	2								1	
	健康栄養学特論	1後	2								2	
	医療人類学特論	1後	2								1	
	デジタルヘルスケア特講	1前	2			1					1	
	小計 (9科目)	—	8	10	0	6	1	0	0	0	7	
看護実践科学	看護管理特論	1後	2			1	1					
	慢性・老年看護特論	1後	2			1						
	看護技術特論	1後	2				1					
	小児・思春期健康支援特論	1後	2			1		1				
	プレコンセプションケア特論	1後	2			1		1				
	セクシュアリティ看護特論	1後	2			1						
	地域在宅看護特論	1後	2			1						
	精神保健特論	1後	2			1						
	国際保健活動特論	1後	2			2						
	小計 (9科目)	—	0	18	0	9	2	2	0	0	0	
専門科目	公衆衛生看護学特論	1前	2			1						
	公衆衛生看護実践特論	1前	2					1				
	公衆衛生看護実践演習	1前	2			1		1				
	人口学特講	2後	2								1	
	保健統計論	1前	2			1						
	疫学特講	1前	2								1	
	ハイリスク事例支援論	1後	2					1				
	コミュニティネットワーク論	1後	2			1						
	地域ケアシステム論	1後	2			1						
	学校保健論	1後	1								1	
	産業保健論	1後	1			1					1	
	健康危機管理論	1後	2			1		1				
	グローバルコミュニティマネジメント論	2前	2			1						
	保健医療福祉行政論	2前	2					1			1	
	公衆衛生看護学レビュー	2前	2			1						
保健政策研究	2後	2			1					1		
公衆衛生看護実習	2通	4			1		2					
グローバルコミュニティ実習	2通	1			1		2					
小計 (18科目)	—	0	35	0	1	0	3	0	0	6		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
共通科目	国際看護学特論	1前	2			2						1
	看護学研究方法特論	1前	2			3						1
	国際看護研究特論	1前	2			1						1
	保健データ解析特講	1前	2			1						1
	ジェンダー学特論	1前	2			1						
	公衆衛生学特論	1前	2									1
	健康栄養学特論	1後	2									2
	医療人類学特論	1後	2									1
	デジタルヘルスケア特講	1前	2			1						1
	小計 (9科目)	—	8	10	0	6	0	0	0	0	8	
看護実践科学	看護管理特論	1後	2			1	1					
	慢性・老年看護特論	1後	2			1						
	看護技術特論	1後	2				1					
	小児・思春期健康支援特論	1後	2			1		1				
	プレコンセプションケア特論	1後	2			1		1				
	セクシュアリティ看護特論	1後	2			1						
	地域在宅看護特論	1後	2			1						
	精神保健特論	1後	2			1						
	国際保健活動特論	1後	2			2						
	小計 (9科目)	—	0	18	0	9	2	2	0	0	0	
専門科目	公衆衛生看護学特論	1前	2			1						
	公衆衛生看護実践特論	1前	2					1				
	公衆衛生看護実践演習	1前	2			1		1				
	人口学特講	2後	2									1
	保健統計論	1前	2			1						
	疫学特講	1前	2									1
	ハイリスク事例支援論	1後	2					1				
	コミュニティネットワーク論	1後	2			1						
	地域ケアシステム論	1後	2			1						
	学校保健論	1後	1									1
	産業保健論	1後	1			1						1
	健康危機管理論	1後	2			1		1				
	グローバルコミュニティマネジメント論	2前	2			1						
	保健医療福祉行政論	2前	2					1				1
	公衆衛生看護学レビュー	2前	2			1						
保健政策研究	2後	2			1						1	
公衆衛生看護実習	2通	4			1		2					
グローバルコミュニティ実習	2通	1			1		2					
小計 (18科目)	—	0	35	0	1	0	3	0	0	6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	助産学特論	1前	2		1							
	地域助産実習	1前	2		1		1					
	周産期学特論	1後	2		1							
	国際助産演習	1後	2		1		1					
	周産期健康危機管理ケア論	1後	2		1						1	
	助産診断技術Ⅰ（分娩介助）	1通	2		2	1	1					
	助産診断技術Ⅱ（継続ケア）	1通	2		1	1	1					1
	助産診断技術Ⅲ（経産婦と健康観察法）	1通	3		1	1	1					2
	助産研究レビュー	1通	2		1							
	助産診断技術実習	1通	6		1		1	1				
	新生児・乳幼児ケア論	2前	2		1							1
	助産管理論	2前	2		1							
	開業助産実習	2通	6		1		1	1				
小計（13科目）	—	0	35	0	6	1	1	1	0	0	4	
特別科目研究	看護研究演習	1通	2			10	3	1				
	看護特別研究	2通	4			10	3	1				
	小計（2科目）	—	6	0	0	10	3	1	0	0	0	
合計（51科目）			—	14	98	0	10	4	4	1	0	17

卒業要件及び履修方法

<p>【修了要件】 ○看護実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む30単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目6単位以上と看護実践科学科目及び公衆衛生看護実践科学科目ならびに助産実践科学科目の選択可能科目から2単位以上、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>○公衆衛生看護実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む61単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目及び助産実践科学科目の選択可能科目から4単位以上、公衆衛生看護実践科学科目35単位、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、保健師助産師看護師養成所指定規則第2条第3号に規定される必要科目31単位が含まれている。</p> <p>○助産実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む61単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目及び助産実践科学科目の選択可能科目から4単位以上、助産実践科学科目35単位、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、保健師助産師看護師養成所指定規則第3条第3号に規定される必要科目31単位が含まれている。</p> <p>【履修方法】 ○看護実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「看護実践科学科目」の3領域から1領域を選択し3科目6単位とその他の1科目2単位以上（選択必修8単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>○公衆衛生看護実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「公衆衛生看護実践科学科目」の35単位、その他の2科目4単位を選択必修（選択必修39単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>○助産実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「助産実践科学科目」の35単位、その他の2科目4単位を選択必修（選択必修39単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>※は各国家試験受験者コースに限る</p>												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	助産学特論	1前	2		1							
	地域助産実習	1前	2		1		1					
	周産期学特論	1後	2		1							
	国際助産演習	1後	2		1		1					
	周産期健康危機管理ケア論	1後	2		1						1	
	助産診断技術Ⅰ（分娩介助）	1通	2		2	1	1					
	助産診断技術Ⅱ（継続ケア）	1通	2		1	1	1					1
	助産診断技術Ⅲ（経産婦と健康観察法）	1通	3		1	1	1					2
	助産研究レビュー	1通	2		1							
	助産診断技術実習	1通	6		1		1	1				
	新生児・乳幼児ケア論	2前	2		1							1
	助産管理論	2前	2		1							
	開業助産実習	2通	6		1		1	1				
小計（13科目）	—	0	35	0	6	1	1	1	0	0	4	
特別科目研究	看護研究演習	1通	2			10	3	1				
	看護特別研究	2通	4			10	3	1				
	小計（2科目）	—	6	0	0	10	3	1	0	0	0	
合計（51科目）			—	14	98	0	10	4	4	1	0	18

卒業要件及び履修方法

<p>【修了要件】 ○看護実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む30単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目6単位以上と看護実践科学科目及び公衆衛生看護実践科学科目ならびに助産実践科学科目の選択可能科目から2単位以上、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>○公衆衛生看護実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む61単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目及び助産実践科学科目の選択可能科目から4単位以上、公衆衛生看護実践科学科目35単位、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、保健師助産師看護師養成所指定規則第2条第3号に規定される必要科目31単位が含まれている。</p> <p>○助産実践科学分野 本研究科に2年以上在籍し、所定の授業科目について、必修科目14単位を含む61単位以上（共通科目16単位、看護実践科学科目及び助産実践科学科目の選択可能科目から4単位以上、助産実践科学科目35単位、特別研究科目6単位）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。なお、保健師助産師看護師養成所指定規則第3条第3号に規定される必要科目31単位が含まれている。</p> <p>【履修方法】 ○看護実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「看護実践科学科目」の3領域から1領域を選択し3科目6単位とその他の1科目2単位以上（選択必修8単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>○公衆衛生看護実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「公衆衛生看護実践科学科目」の35単位、その他の2科目4単位を選択必修（選択必修39単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>○助産実践科学分野 「共通科目」は16単位以上（必修8単位、選択8単位以上） 「専門科目」は「助産実践科学科目」の35単位、その他の2科目4単位を選択必修（選択必修39単位以上） 「特別研究科目」（必修6単位）</p> <p>※は各国家試験受験者コースに限る</p>												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

・Herrera Cadillo Lourdes Rosario准教授就任辞退により、「国際看護学特論」「国際看護研究特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任・兼担1」に変更。「看護研究演習」「看護特別研究」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
6 科目	45 科目	0 科目	51 科目	6 科目 [-]	45 科目 [-]	0 科目 [-]	51 科目 [-]	

- (注)
- ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{51} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大手前短期大学（必要面積5,400㎡）と共用 近接地購入・売却（5） 校舎敷地と別地：学園バスにて20～50分			
	校舎敷地	10,246.76㎡	26,124.08㎡	0㎡	36,370.84㎡				
	運動場用地	0㎡	20,609.47㎡	0㎡	20,609.47㎡				
	小計	10,246.76㎡	46,733.55㎡	0㎡	56,980.31㎡				
	その他	416.56㎡	3,865.66㎡ 3,279.62㎡	0㎡	4,282.22㎡ 3,696.18㎡				
	合計	10,663.32㎡	50,599.21㎡ 50,013.17㎡	0㎡	61,262.53㎡ 60,676.49㎡				
(2) 校舎	専用	25,453.91㎡ 25,451.18㎡ (25,453.91㎡) (25,451.18㎡)	14,232.83㎡ (13,045.83㎡)	共用する他の学校等の専用 2,832.59㎡ (2,832.59㎡)	計 42,519.33㎡ 42,516.60㎡ (41,332.33㎡) (41,329.60㎡)	大手前短期大学（必要面積5,100㎡）と共用 新築工事の面積確定のため（5）			
	講義室	67室 66室	28室	49室 50室 (補助職員 一人)	7室 (補助職員 一人)		用途変更のため（5）		
(3) 教室等	新設学部等の名称	室数			共同研究室5室を含む				
(4) 専任教員研究室	国際看護学研究科 看護学専攻	20室							
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学・短期大学共用の全図書373,790 359,922冊[59,337 58,089冊]学術雑誌 220,102 12,695種 [11,825 8,286種]。電子 ジャーナル219,707 10,606種 [11,782 9,045種]。データ ベースの新規契約により 学術雑誌数増加。	
	国際看護学研究科 看護学専攻	855 [247] (861 [252]) (855 [247])	29 [0] 30 [0] (29 [0])	21 [0] 23 [0] (21 [0])	40 (41) (40)	123 (123)	0 (0)		
	計	855 [247] (861 [252]) (855 [247])	29 [0] 30 [0] (29 [0])	21 [0] 23 [0] (21 [0])	40 (41) (40)	123 (123)	0 (0)		
(6) 図書館	面積	3,620.52㎡		閲覧座席数	220,566		大学全体		
	面積	1,290.79㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要 陸上トラック・テニスコート・弓道場・ゴルフ練習場・ジム					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	看護実践科学分野 公衆衛生看護実践科学 分野 助産実践科学分野	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	10,574千円 10,551千円	0千円		0千円
	共同研究費等	1,600千円	1,600千円	設備購入費	21,507千円 20,061千円	0千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		看護実践科学分野 公衆衛生看護実践科学 分野 助産実践科学分野
		950千円	750千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
		1,100千円	900千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
1,250千円	1,050千円	—千円	—千円	—千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（5）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大手前大学										1	0	0	0	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)					
国際日本学部 国際日本学科	4	160	2年次 4人 3年次 2人	746	学士(学術)	0.98	-	0.96	-	-	平成19	兵庫県西宮市御茶家所町6-42	令和5年度から入学定員変更(190→160)		
建築&芸術学部 建築&芸術学科	4	170	2年次 4人 3年次 2人	726	学士(学術)	1.13	-	1.14	1.09	-	平成19	同上	令和5年度から入学定員変更(180→170)		
現代社会学部 現代社会学科	4	200	2年次 4人 3年次 2人	876	学士(学術)	1.08	-	1.11	1.07	-	平成19	同上	令和5年度から入学定員変更(220→200)		
健康栄養学部 管理栄養学科	4	80	3年次 16人	352	学士(栄養学)	0.94	-	0.90	-	-	平成28	大阪府中央区大塚2丁目1番88号			
国際看護学部 看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.07	-	1.06	1.05	-	平成31	同上			
経営学部 経営学科	4	170	2年次 2人 3年次 7人	170	学士(経営学)	1.09	-	1.09	-	-	令和5	兵庫県西宮市御茶家所町6-42			
現代社会学部 現代社会学科 (通信教育課程)	4	500	3年次 500人	3,000	学士(学術)	0.40	-	1.03	0.72	-	平成22	同上			
大学全体	-	1,360	2年次 14人 3年次 529人	6,190	-	-	-	-	-	-	-	-			

大学の名称	大手前短期大学										0	0	0	0	0
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)					
ライフデザイン総合学科	2	100	-	250	短期大学士(デザイン)	0.95	-	0.98	-	-	平成16	兵庫県西宮市御茶家所町6-42	令和5年度から入学定員変更(150→100)		
歯科衛生学科	3	80	-	230	短期大学士(歯科衛生学)	1.06	-	1.05	1.03	令和4	令和2	同上	令和4年度から入学定員変更(70→80)		
医療事務総合学科	2	50	-	50	短期大学士(医療事務)	0.82	-	0.82	-	-	令和5	同上			
大学全体	-	230	-	530	-	-	-	-	-	-	-	-			

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和4年)</p>	<p>「審査意見への対応を記載した書類（9月）」の審査意見3への対応の説明において、ディプロマ・ポリシー全体を見直し、同時に教育課程の内容と整合性が取れるように、「審査意見への対応を記載した書類（資料）（9月）」の別紙1【別添資料9】（カリキュラム・マップ）が改められた。この中で、「国際保健活動特論」や「グローバルコミュニティ実習」といった国際を強く掲げた授業科目について、「最も重要な科目」である「◎」がディプロマ・ポリシー③にのみ整理されているが、本専攻のディプロマ・ポリシー①に、「対象の価値観を尊重する国際性」の修得を掲げていることを踏まえれば、これらの授業科目については、ディプロマ・ポリシー①にも強い関連性があると見受けられる。実践に関する能力を涵養（かんよう）する授業科目の中にも、国際性を涵養（かんよう）する授業科目も散見されることから、これらの授業科目について、ディプロマ・ポリシーとの関連を見直すとともに、各ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得するために、履修すべき授業科目が明確になるよう、学生等に対し分かりやすく示すこと。</p>	<p>附帯事項のご意見に沿って、「審査意見への対応を記載した書類（資料）（9月）」の別紙1【別添資料9】（カリキュラム・マップ）の中で、国際を強く掲げた授業科目を見直し、「国際保健活動特論」「グローバルコミュニティ実習」「グローバルマネージメント論」「国際助産演習」「看護研究演習」「看護特別研究」の6科目に、「もっとも重要な科目」である◎で、「開業助産実習」を「重要な科目である」○で示し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得する科目として明示した。また、別紙3【別添資料7】（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、科目群の関連）に示す関連図も見直し、カリキュラム・ポリシーの示す赤色矢印の国際性を、専門科目の「看護実践科学」「公衆衛生看護実践科学」「助産実践科学」と、特別研究科目に追記し、より国際性がカリキュラムに組み込まれていることが明確にわかるようにし、新入生オリエンテーション及び履修ガイダンス等にて、丁寧に説明した。（5）</p>	<p>各学期の開始時に実施するオリエンテーション等で引き続き、本研究科の教育理念と教育の特長、及びディプロマ・ポリシーに沿った教育カリキュラムの内容であることを丁寧に説明していく。また、教育カリキュラムに沿った科目履修を行い、学修や看護研究を進めることなどについても分かりやすく説明していく。（5）</p>
<p>認 可 時 (令和4年)</p>	<p>完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。</p>	<p>高い教育水準を達成するため、優れた教育・研究能力を有する教員を配置したことから、開設当初は3名の教員が、本学専任教員の定年規程（65歳）を超えているが、本学園任期付教員任用規程第2条において、教授または准教授の特別待遇教員を72歳未満と規定しており、完成年度までにこれを超える教員はいない。（5）</p>	<p>教員補充計画については、高い水準の教育及び研究指導の質の担保と継続を考えて行っていく。完成年度時に70歳を迎える研究指導教員1名はその年度で退職のため教員補充を行う。今後は研究指導補助教員の教授、准教授が研究指導教員として携われるように研究指導能力の向上を図る。また、現在本学の学部教育を担っている博士の学位取得者や准教授職の教員の中からも修士課程の研究指導に携われるよう育成に努め、若手教員が教育、研究に関われるようにし、教育組織の強化と充実を図っていく。（5）</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院 国際看護学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学FD委員会は、副学長を委員長とし各学部より選出され教学運営評議会にて承認された教員若干名で組織されている。本研究科においても、大手前大学で従来行われてきた方法を踏襲し、さらに研究科に必要な項目を加えて実施する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2022年度の本委員会の開催状況は下記のとおりである（※コロナ禍のためいずれもオンライン開催）

第1回	2022年 5月10日(火)	出席委員 11名	欠席委員 3名	担当事務局 2名
第2回	2022年 6月 7日(火)	出席委員 12名	欠席委員 2名	担当事務局 2名
第3回	2022年 7月 5日(火)	出席委員 13名	欠席委員 1名	担当事務局 2名
第4回	2022年 9月 6日(火)	出席委員 9名	欠席委員 5名	担当事務局 2名
第5回	2022年10月 4日(火)	出席委員 13名	欠席委員 1名	担当事務局 2名
第6回	2022年11月 1日(火)	出席委員 12名	欠席委員 2名	担当事務局 1名
第7回	2022年12月 6日(火)	出席委員 10名	欠席委員 2名	担当事務局 2名
第8回	2023年 1月10日(火)	出席委員 9名	欠席委員 6名	担当事務局 2名
第9回	2023年 2月 7日(火)	出席委員 12名	欠席委員 2名	担当事務局 2名

c 委員会の審議事項等

- ・ 2022年度のFDの運営について
- ・ FD活動の活性化について
- ・ 国際看護学部のFDについて
- ・ 学外公開FDについて
- ・ 次年度FDおよびFD委員について

② 実施状況

a 実施内容

- ① 教員相互の授業見学、ティーチングポートフォリオ
- ② 専任教員対象FD
- ③ 教員・職員対象のFSD
- ④ 職員研修への参加SD

b 実施方法

① 教員相互の授業見学

本研究科の基礎となる国際看護学部においては、毎年度、春学期もしくは秋学期の3週間を設定し、専任教員及び非常勤講師が相互に授業を見学し、気づいた点や参考になった点等をお互いが報告し、様々な授業を見学することにより、また、見学されることにより、学生に対してより良い授業となるよう教員が自ら授業改善するようにしている。

なお2022年度からは、より良い授業となるようティーチングポートフォリオの作成をおこなっている。

②～④ 専任教員対象FD、教員・職員対象FSD、職員研修への参加SD

毎月教授会終了後の1コマをFD実施用の時間として年間確保している。原則この時間は確保されており、FD委員会にて協議し、テーマを設定した課題にて、FDを開催している。

今年度もコロナ禍の影響にあり、「Zoom」による感染予防に配慮した形で開催した。

なお、国際看護学部では、学部においても開設時より独自のFDを実施しており、1.多様な文化・多様性への理解・受容を深め、教育能力の向上を目指す、2.本学部の目指す看護教育を全学部教員が共通認識をしたうえで、授業の具現化に向けた教育の質保証・向上につなげる、等为目标に挙げ実施した。

職員研修(SD)に関しても、執行部の教員に対して参加を依頼し教職協働の相互理解のもと、より幅広い理解と様々な学修支援を実施している。

いずれにおいても、今後においては、学部FDと調整をしながら重複しないように実施していく。また、研究科独自の国際看護研究や多様性探求に関する研究等のFDも開催し、本研究科の教育理念に沿った教育への理解が全教員で統一できるように取り組む。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

2022年 6月 21日(火)	「経営学部の目指すもの」	108名
2022年 7月 12日(火)	「学園財務報告」	78名
2022年 7月 19日(火)	「科研費申請について」	103名
2022年 9月 6日(火)	「短期大学医療事務総合学科について」	36名
2022年 9月 20日(火)	「2022年度全学プレゼンテーションについて」	76名
2022年 9月 29日(火)	「大学におけるジェンダー平等」(国際看護学部)	43名
2022年 10月 18日(火)	「リテンション率向上のために」	104名
2022年 11月 15日(火)	「大学院国際看護学研究科設置について」(第一部) 「ティーチングポートフォリオ作成について」(第二部)	106名
2022年 12月 20日(火)	「大手前プレゼンフェスタ関連」	102名
2023年 1月 17日(火)	「授業との連携事例 学修サポートセンター」	73名
2023年 2月 21日(火)	「大手前大学ビジョン2030構築プロジェクト中間報告」	101名
2023年 3月 14日(火)	「教育ボランティア面談の振り返りと今後について」	83名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本研究科の基礎となる国際看護学部においては、「教員相互の授業見学」について、目的や視点について案内文に明確に表示し報告書の様式も変更している。今年度の授業見学期間は秋学期の11月初旬から同月下旬までとした。なお、2022年度から、より良い授業となるようティーチングポートフォリオの作成をおこなっている。

本学では、教授会終了後に確保しているFD時間を有効に活用し、定例のFDを開催し、学修者にとってより良い授業となるよう、学修者を中心とし理解できる授業運営のFDを頻繁に行い、専任教員及び非常勤講師とが一緒になり授業改善へ取り組んだ。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年春学期には7月に、秋学期には1月に全科目を対象として「授業アンケート」を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

本研究科の基礎となる国際看護学部においては、「学生による授業アンケート」を実施し、全科目に対する項目回答及び自由記述において、学生の意見も聴取している、アンケート結果については、集計し、各教員へフィードバックするとともに、自由記述等に対して教員はコメントを入力するようになっている。

今年度も、コロナ禍の影響もあり、対面授業及び非対面授業と2種類の授業形態となったこともあり、対面授業と非対面授業のアンケート結果を検証し、今後の非対面授業をより良いものへと発展させていくよう検討していく。

集計後は総合学修システム(ei-Campus)により教職員・学生に授業アンケート結果を公開している。

なお、アンケートの集計結果を本学Webサイト上にも公表している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際看護学研究科は開設したばかりであるため、設置の趣旨・目的の達成状況に関して点検・評価活動は実施していない。新入生12名に対しては、入学式前の1日を利用してオリエンテーションを実施し、入学前の不安を解消しこれからの学修を進めることができるよう、丁寧な説明・指導をおこなった。また学生本人の希望を踏まえ研究指導教員も決定し、早い段階から手厚く学修指導をおこなえる体制を整えた。また、英語論文抄読会を毎週実施し、前半は日本語による看護研究、後半は英語による論文作成や発表について、研究指導教員とネイティブの研究者と一緒に日英表記の研究内容の知識を強化している。この他、4月末からは「地域助産実習」が開始されたが、担当教員の指導の下、実習先の協力をいただき順調にスタートすることができている。大手前大学大学院研究科委員会規程に基づき設けられた国際看護学研究科研究科委員会が4月に開催され、委員会のあり方や来年度の入試に向けての議論をおこなった。今後も月に1度開催し学生の学修の更なる充実等について積極的な議論をおこなう予定にしている。

また、5月および6月には初の試みとして国際看護学研究科のオープンキャンパスを実施する予定である。研究科の概要説明はもとより、3つの分野「看護実践科学分野」「公衆衛生看護実践分野」「助産実践科学分野」について詳細な説明や個別相談、指導教員や先輩院生との個別相談などをおこなうことにより、アドミッション・ポリシーに定める、「グローバル社会に内在する多様な健康課題に高い関心を持ち、研究的視点によって看護を探究し、看護実践の向上に取り組む意欲のある者」「看護実践に根差した研究能力を修得し、広く俯瞰的に物事を捉え、将来にわたって看護を探究する意欲のある者」に本学を志望してもらえるよう、継続的な取組みを今後もおこなっていく。

総じて、本研究科がディプロマ・ポリシーに定める、国際性・基礎的研究力・看護実践力を有する人材育成に向けて、開設時から順調に滑り出しているものと思われる。

② 自己点検・評価報告書

令和5年度が開設初年度であり自己点検・評価活動は未実施であるため、報告書は未作成。

a 公表（予定）時期

令和5年度が開設初年度であり報告書未作成のため、公表も未実施。

b 公表方法

令和5年度が開設初年度であり報告書未作成のため、公表も未実施。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4（2022）年度に評価機関（（公財）日本高等教育評価機構）の評価を受審した。
- ・次回受審については、令和11（2029）年度に受審を受けるべく計画している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。